

○議長（滝内久生君） おはようございます。

開会前ではございますが、市長より発言を求められておりますので、これを許可いたします。

市長。

○市長（松木正一郎君） おはようございます。

貴重なお時間をいただきまして申し訳ございません。既に報道されておりますが、昨日、市民保健課会計年度任用職員が静岡県迷惑行為等防止条例違反で逮捕されました。会計年度任用職員とはいえ、本市の職員がこのような事件を起こし、被害に遭われた方におわび申し上げますとともに、市民の皆様にも御心配や御迷惑をおかけしたことににつきまして、ここに改めて深くおわび申し上げます。

当事案につきまして、今後、事実関係をしっかり確認した上で厳正に対処していく所存でございます。

また、職員の綱紀粛正にもさらなる徹底を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） ただいまの出席議員は定足数に達しております。

よって、令和3年11月下田市議会臨時会は成立いたしましたので、開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議開催に当たり、欠席したい旨の届出のありました議員は、13番 沢登英信君であります。

---

### ◎会期の決定

○議長（滝内久生君） 日程により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、本日1日間としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって会期は、本日1日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に御通知いたしました案のとおりでありますので、御承知願います。

---

### ◎会議録署名議員の指名

○議長（滝内久生君） 次は、日程により会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、議長において、4番 渡邊照志君と5番 矢田部邦夫君の両名を指名いたします。

---

### ◎諸般の報告

○議長（滝内久生君） 次は、日程により、諸般の報告を申し上げます。

最初に、議長会関係について申し上げます。

10月29日、磐田市で開催予定でありました静岡県市議会議長会正副会長・監事会議及び第161回静岡県市議会議長会定期総会が、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、書面による開催となり、過日、令和2年度決算、令和3年度補正予算、静岡県市議会議長会会則の一部改正等書面表決を行いました。その後、全ての議案について承認または賛成された旨の報告を受けました。

11月に東京で開催予定でありました全国温泉所在都市議会議長協議会第99回役員会が書面による開催となり、過日、会務報告、要望書、実行運動等について書面表決を行いました。

11月15日、全国過疎地域連盟第52回定期総会が東京都で開催され、私が出席をいたしました。この総会では、任期満了に伴う役員を選任について審議され、私が理事に就任することとなりました。また、令和4年度過疎対策関係政府予算・施策に関する決議・要望について、要請活動方法について、全国過疎地域連盟の法人化の方針について審議を行い、全て可決されました。

次に、式典関係について申し上げます。

10月10日、裾野市市制施行50周年記念式典が裾野市で開催され、私が市長とともに出席いたしました。

次に、昨日までに受理いたしました陳情1件でございます。

「中国政府による新疆ウイグル自治区、チベット、内モンゴルなど自治区への人権侵害等を非難することを求める意見書」に対する陳情について（依頼）の写しを議席配付してありますので、御覧ください。

次に、今臨時会に市長から提出議案の送付と説明員として出席する旨の通知がありましたので、係長をして朗読いたさせます。

○庶務兼議事係長（中堀啓司君） 朗読いたします。

下総総第129号。令和3年11月18日。

下田市議会議長、滝内久生様。静岡県下田市長、松木正一郎。

令和3年11月下田市議会臨時会議案の送付について。

令和3年11月18日招集の令和3年11月下田市議会臨時会に提出する議案を、別紙のとおり送付いたします。

付議事件。

報第12号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第9号））、議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）。

続きまして、下総総第130号。令和3年11月18日。

下田市議会議長、滝内久生様。静岡県下田市長、松木正一郎。

令和3年11月下田市議会臨時会説明員について。

令和3年11月18日招集の令和3年11月下田市議会臨時会に、説明員として下記の者を出席させるので通知いたします。

市長 松木正一郎、副市長 曾根英明、教育長 佐々木文夫、企画課長 鈴木浩之、総務課長 須田洋一、教育委員会学校教育課長 糸賀 浩、教育委員会生涯学習課長 平川博巳、財務課長 日吉由起美、観光交流課長 佐々木雅昭、産業振興課長 長谷川忠幸、市民保健課長 井上 均、防災安全課長 平井孝一、建設課長 高野茂章。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 以上で諸般の報告を終わります。

---

#### ◎報第12号の上程・質疑・討論・採決

○議長（滝内久生君） 次は、日程により、報第12号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第9号））を議題といたします。

当局の説明を求めます。

財務課長。

○財務課長（日吉由起美君） 報第12号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第9号））につきまして御説明申し上げます。

議案件名簿の1ページをお開きください。

報第12号 専決処分の承認を求めることについてでございますが、地方自治法第179条第1項の規定により、専第9号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第9号）を別紙のとおり、令和3年10月1日に専決処分したことにつき、同条第3項の規定により、議会の承認を求めるものでございます。

別紙ピンク色の補正予算書及び補正予算の概要を御用意ください。

今回の補正予算は、令和3年10月1日台風16号の大雨による災害復旧経費及び新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に係る準備経費について、早急に対応すべきものとして、専決処分したものでございます。

それでは、補正予算書の1ページをお開きください。

令和3年度下田市の一般会計補正予算（第9号）は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,410万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ129億732万8,000円とするものでございます。

第2項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」によるというもので、予算書の2ページから5ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては、後ほど補正予算の概要により御説明申し上げます。

第2条、地方債の補正でございますが、地方債の追加は「第2表 地方債補正」によるというもので、予算書の6ページをお開きください。

地方債の追加は1件で、起債の目的、単独河川・道路橋梁施設災害復旧事業、限度額310万円は、白浜・長田地区、市道東道線の路肩崩壊に係る災害復旧工事に充てるため、起債を発行するもので、起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりでございます。

それでは、補正予算の内容について御説明申し上げますので、恐れ入りますが、補正予算の概要の2ページ、3ページをお開きください。

歳入でございますが、財務課関係、22款1項8目2節現年発生単独災害復旧事業債310万円の追加は、先ほど予算書6ページにて御説明申し上げました、追加1件分でございます。

市民保健課関係、15款2項3目1節国庫・保健衛生費補助金1,100万円の増額は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額に伴うもの。

続きまして、4ページ、5ページ、歳出でございますが、財務課関係、12款1項1目予備

費10万円の減額は、歳入歳出調整額。

市民保健課関係、4款1項2目2023新型コロナワクチン接種事業1,100万円の増額は、3回目ワクチン接種に係るコールセンターの業務委託及び健康管理システム改修に要するもの。

建設課関係、10款2項4目7451単独道路橋梁施設災害復旧事業（10月1日災）320万円の追加は、先ほどの市道の災害復旧工事費でございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、報第12号 専決処分の承認を求めることについてに係る専第9号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第9号）の説明を終わらせていただきます。

御承認のほど、よろしく願い申し上げます。

○議長（滝内久生君） 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。質疑ございますか。

2番 中村 敦君。

○2番（中村 敦君） 市民保健課、2023新型コロナワクチン接種事業についてお尋ねしますが、その前に、今、非常にコロナについては国内、県内、市内、非常に落ち着いておりまして、それもこれも下田市においては全市民の80%以上のワクチン接種という非常に高い数値を出していただいた市民保健課の課長はじめ、全職員の皆様が本当に市民のために日々頑張ってくれたおかげだと思っております。そこについてねぎらいと感謝を申し上げたいと思います。日々、御苦労さまでございます。ありがとうございます。

さて、今度はやっと落ち着いたところで、また3回目の接種ということで、また大変な思いになると思うのですが、さきのこれまでの経験を踏まえて、今度は12歳以上という非常に幅広い年齢層が一気に始まることかと思えますけれども、その予約の取り方についてどのような計画をされているのか、そしてコールセンターを今度何人でやられるのかということをお聞きします。

それから、まだ計画はないとは思いますが、国から発表されてる5歳から11歳の接種について、今、知り得るところの情報があれば教えていただきたいと思えます。

以上です。

○議長（滝内久生君） 市民保健課長。

○市民保健課長（井上 均君） 御質問ありがとうございます。それでは、特に1回目の接種、高齢者接種につきましては、4月12日から予約を行った際に非常に混乱を招いてしまって大変申し訳ございませんでした。今度につきましては、大きく変えるところは、電話のみの予

約から、若い人たちと同じウェブ予約を並行して実施すること。それから、接種券を当時、高齢者につきましては9,500枚を一括して送りましたけども、今度につきましては8か月経過ごとにとこの指示をいただいておりますので、2週間ごとに対象者に接種券を送るということ。それから、集団接種のみでスタートしておりましたが、現在、若年の方につきましては個別接種も医療機関のほうの協力を大分得られてることから、集団接種と個別接種を並行して実施していきたいというふうに考えているところで、現在、調整をしているところでございます。

それから、コールセンターにつきましては、ですので電話予約、それからウェブ予約の並行で行いたいと思っています。

それから、御質問の5歳から11歳、特に小さい子どもたちの対応につきましては、昨日、厚生労働省からの説明の中で、早ければ2月というふうな報道もございます。来週には賀茂医師会との打合せなどもございます。特に小さいお子様ですと、ワクチンの量、それから対応、それから保護者が同伴、それからあと、もしものときの対応というのが非常にデリケートなものですから、医師会のほうと十分打合せをして、例えばベッドのある小児科さんを利用するとか、下田市だけではなくて、今回、5歳から11歳につきましては広域での対応もいいということになっていきますので、賀茂郡内で調整をしていきたいというふうに現在考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 2番 中村 敦君。

○2番（中村 敦君） はい、大変よく分かりました。また市民が我先にというようなことにならないように、しっかりその順番とか方法を周知しながら、落ち着いた対応を今後ともしていただきたいと思います。重ねて言いますが、日々、御苦労さまでございます。ありがとうございます。

以上です。

○議長（滝内久生君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） これをもって質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は、委員会に付託することを省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、報第12号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第9号））は、原案のとおり承認することに決定いたしました。

---

#### ◎議第55号の上程・質疑・委員会付託

○議長（滝内久生君） 次は、日程により、議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

財務課長。

○財務課長（日吉由起美君） それでは、議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）につきまして御説明申し上げます。

別紙浅黄色の補正予算書及び補正予算の概要を御用意ください。

今回の補正予算につきましては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、今後の感染症対策、観光及びスポーツ振興に資するため、新たな事業を実施しようとするものでございます。

補正予算書の1ページをお開きください。

令和3年度下田市の一般会計補正予算（第10号）は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億2,424万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ126億8,308万4,000円とするものでございます。

第2項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入

歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」によるというもので、予算書の2ページから5ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては、補正予算の概要にて御説明申し上げますので、お手数ですが、補正予算の概要2ページ、3ページをお開きください。

歳入でございます。

企画課関係、15款2項1目2節国庫・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、補正額はゼロ円でございますが、交付金事業の執行状況等により、充当額を変更するもの。

産業振興課関係、16款2項5目5節県費・新型コロナウイルス感染拡大防止協力促進事業補助金2億2,424万4,000円の減額は、7月28日から8月7日までの静岡県による飲食店の営業時間の短縮要請に伴う感染症拡大防止協力金の交付額が決定したため減額するものでございます。

次に、歳出でございます。4ページ、5ページをお開きください。

財務課関係、12款1項1目予備費753万5,000円の増額は、歳入歳出調整額でございます。

防災安全課関係、2款8項1目0860防災対策総務事務107万円の減額は、防災用備品として、購入した避難所用扇風機等の入札差金。

産業振興課関係、6款1項2目4054事業者応援金事業6,465万4,000円の減額は、事業者応援金事業の終了によるもの。同4055感染拡大防止協力金交付事業2億3,930万円の減額は、感染拡大防止協力金交付事業の終了によるもの。

観光交流課関係、6款2項2目4250観光まちづくり推進事業5,936万円の増額は、補正内容等欄記載のとおりでございますが、屋外イベント用備品（感染症対策分）は、屋外空間を活用して地域活性化を図るイベント等に使用する備品を購入するもの、下田市観光協会補助金（メディアプロモーション分）は、東京、山梨、県内及び近隣エリアに対し、誘客PRのため、CMや新聞広告、クーポン配布等を行うもの。同3目4350観光施設管理総務事務370万円の増額は、観光客が多く訪れる海岸のトイレの外側に手洗い場を設置するもの。

学校教育課関係、3款3項3目1550公立保育所管理運営事業130万円の増額は、下田保育所の空き保育室にエアコンを設置することにより、園児の密対策を行うもの。同6目1452放課後児童対策事業220万円の増額は、稲生沢小学校放課後児童クラブのエアコン増設と、トイレの洋式化を行うもの。

生涯学習課関係、9款5項6目6600図書館管理運営事業83万5,000円の増額及び同6602図書館OA化推進事業4万円の増額は、図書の実をを図るもの。同6項1目6701社会体育活動

推進事業481万円の増額は、補正内容等欄記載のとおりでございますが、アウトドアスポーツを振興するため、消耗品費及び備品はウエットスーツ等を購入するほか、合宿推進業務委託は、合宿誘致のため宿泊補助やニーズ調査を行うもの。同3目6752下田市民スポーツセンター管理運営事業100万円の増額は、感染症対策として、体育館にスポット冷風機2台と、紫外線清浄機を1台購入するものでございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算(第10号)の説明を終わらせていただきます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

○議長(滝内久生君) 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

9番 進士濱美君。

○9番(進士濱美君) 先ほど、前回ちょっとお尋ねした、例の産業関係の事業者応援資金事業6,400万円の減額、それから感染拡大防止協力金事業の2億3,900万円何がしかの減額と、合計3億円を超える協力金事業の減額になっておるんですが、これの当初予算が組まれたうちから、これで当初予算が合計で4億6,000万円ほどになつとるんですが、減額がそのうちの3億円超というのは、いかにも理解しがたい数字が出てるんですが。前回お願いしたように、当初予算についての見積り、事業者数がこれぐらいあって、該当する協力金がこれぐらい必要だろうという算段の上に予算というのはつくってあるんだらうと思うんですが、その明細と支給額、件数、それから残る減額の金額というふうにはイコールになってくるんだらうと思うんですが。これの明細については文書で頂きたいと思っておりますけども、当然、委員会のほうへ出していただければよろしいんですが。議員のほうにもそこら辺の明細をつくっていただけないでしょうか、お願いいたします。

○議長(滝内久生君) 産業振興課長。

○産業振興課長(長谷川忠幸君) 応援金事業と協力金事業の御質問でございます。今、すみません、お手元に配付させていただいております、この事業に関わる資料ということで御覧いただきたいと思っております。事業別で4054事業と4055事業がございます。内容につきましては、補正予算、専決等のところで御説明申し上げたとおりでございます。この結果につきましては、応援金でございます。10万円と5万円の応援金がございます。予算で言いますと10万円に対しては1,100件、結果、828件の申請がございましたということです。5万円につきましては800件予算をいただいております。67件の結果で減額とさせていただいたところござ

います。財源につきましては下に御覧のとおりでございます。

この1,100件と800件の根拠といたしましては、令和2年、休業要請を要請したときに、1,500件程度の見積りをしてございます。その時点の1,500件を今の経済センサスの事業者構成比率に掛けて、産業大分類に分けた数字に、予算でございますのでプラスして1,100件と800件という見積りをさせていただいたところでございます。

4055の協力金につきましては、これ、新型インフルエンザ特別措置法に基づく県知事の要請で行った事業でございます。ですので、県から食品衛生法の当時52条の許可を得ている事業所として630件の事業所がございまして、そこに単価としましては3万5,000円掛ける、当時は14日でございました、それで見積もってございます。実際のところ217件、協力要請をいただいたということで申請を受けてございます。御存じのとおり、県独自の協力依頼のほうは14日、見積もってございましたけど、11日に変更になって、まん延防止緊急事態ということになってございます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 9番 進士濱美君。

○9番（進士濱美君） 今、手元に書類が来ました。これ、また精査していきたいと思っておりますけども、いずれにしても、産業振興課長が説明いただきましたけども、県の制度そのものという説明もございましたけども、もちろんこれは県の制度も後押ししていただいているわけなんですけども、いずれにしろ下田市民の中の、下田行政の中の困窮を何とかしようという政策なわけです。ですから、県があろうがなかろうが、これは救済に手を差し伸べるとというのが当然でございます、それにつきましても、いかんせん予算額と、この配付金額の差が大き過ぎるということは、これ、どういうことなのか。そもそもの事業者の実態が市のほうでつかめていないのか、数だけが残っているのか、数字だけが、実態がないのかという部分の乖離があるんだろうと思います、まずね。それからもう一点、周知がうまく、この事業計画が周知されていないという部分も一点としては心配があります。現に私もある、おそば屋さんですが、聞いてみたところ、知りませんでした、おばあちゃんでしたけどね。そういうのも散見されるわけです。

よって、結果的にこんな少ない交付金で終わるということになるんでしょうけども、いずれにしろ、下田市内の経済が困窮を回していくのが今、最優先として求められると、生活をも支えるというのが皆さん同意だろうと思うんですが、それをできるだけ使い切れないで減額をしていく、合計金額3億円ほど減額するわけですよ、本来なら市中に入ってもよろし

い資金だろうと思うんですけども。この辺の誤差についてはもう一度、今後のためにも実態との差異、どうしてこういう数字になってしまったのか、明らかにしていただけないか。

○議長（滝内久生君） 産業振興課長。

○産業振興課長（長谷川忠幸君） 4054事業につきまして、見積りは予算的には10万円で申し上げますと1,100件、見積もってございます。これ計算したら九百五十何件ということで、先ほど申し上げた産業大分類の構成比率に合わせてやった数字が957件だったと思いますけど。でも、その数字を、予算ですので、その数字をそのままやったときに、何ですか、足りなくなったということもありますので、900なら900で予算見積もればいいのかということもございまして、係数を掛けて1,100件ということで予算をいただいて、なるべく速やかにお支払いをしたいということで予算をいただいております。

4055につきましては、これ、飲食店等に時短の要請で、その協力した方に対してお金が入ってくるという制度でございまして。だもんで、例えば予算で3億円持ってますけど、結果的に7,000万円ということで、その差額を市で使えるわけではございません。ということで御理解いただきたいと思っております。

以上です。

○議長（滝内久生君） 9番 進士濱美君。3回目です。

○9番（進士濱美君） いずれにしろ、しかし単純に考えて、予算がこれだけついた事業ですから、私ども、議会を通してのわけですよ、これだけ支給してくださいと、見込額あるだろうということで通してるわけなんですけども、あまりにも、これ7割を超えるような返金、減額の金額になってますよね、感染防止協力金の交付事業が、3億1,000万円何がしの予算が2億3,900万円の減額ですから、あまりにも、72%の減額と、これ、誤差では済まない数字だろうと思うんですね。ですから、どうにも腑に落ちない、実態経済のつかみ方が行政側で相当、もうずれてるんじゃないかと思うんですけども、そういうデータ、あるいは経済実態をつかんでいくのに非常に重要な部分を押さえていないというのは産業振興の政策になったら、これ、大変困るわけですよ、今後についても。種々の計画に反映されていきますから、そういうデータというのが。過疎計画もそうです、産業振興計画もそうです、長期計画もそうです。全てがそういった実態経済の数字を基にやって、あまりにもそれ、違いましたというレベルでは済まない部分を影響があるわけですね。今回、私、今、ちょっと話広げてお話ししておきますけども。ですから、その辺を含めて、委員会付託になるんでしょうけども、再度、細かい説明と、現状のこのずれの金額、もう少し納得のいく答えを出していただきたい

いと思います。これだけでも実際に本当にいいのか、現状の下田の産業は、事業者は。返し  
ちゃってよろしいんでしょうかというのが一番の心配事になります。

以上で終わります。

○議長（滝内久生君） 答弁必要ありませんか。

○9番（進士濱美君） はい、結構です。

○議長（滝内久生君） ほかに質疑ありますか。

2番 中村 敦君。

○2番（中村 敦君） 2点、お尋ねします。

4250の観光まちづくり推進事業の屋外イベント用備品で1,936万円ということで大きな予  
算ついてますが、先日、ステージ等というふうに聞き及んでおりますけれども、結構な予算  
でございますので、どのような素材の、どのようなサイズのステージを、ステージ等なのか、  
そして、いつ、どこで使うことを想定されていて、ふだんどこに保管し、それを誰が使うこ  
とができるのか、あるいは市民が借りて使うことができるのか、そのような部分を非常にス  
テージ大好きでございますので、教えていただきたいと思います。

それから、4350の観光施設管理総務事務の海岸周辺手洗い場ということで、先日、6基の  
給水施設だというふうに聞きましたけれども、夏の海水浴場シーズンに限らず、年間通して  
浜で遊んで、足も洗えるということで、これは来訪客にとって活気的な施設だろうと思うん  
ですが、すばらしい予算だと思うんですけれども、この6基、どこに6基なのか、海水浴場  
は9つありますので、そこを教えていただきたいと思います。

以上です。

○議長（滝内久生君） 観光交流課長。

○観光交流課長（佐々木雅昭君） それでは、まず屋外イベント用備品の関係についてお答え  
申し上げます。ステージの関係でございますけれども、こちらの大きさというのが、最大で  
幅10メートル、奥行きが7メートル程度、高さが90センチで、これ、ユニットを組み合わせ  
るような形になっておりますので、その使用する場所ですとかイベントの規模によって大き  
さを変えることができるものを購入する予定としております。

それと、この活用なんですけれども、やはり既存のイベントでの活用も当然検討してあり  
ますけれども、例えば今後、みなとまちゾーンの活性化の中でも、例えば海遊公園でマルシ  
ェを開くですとかといったところで活用することも検討をしているところでございます。

市民の方の活用についてなんですけれども、これ購入後は観光交流課のほうで管理要綱を

制定して管理をしていく予定であります。こちらの保管場所につきましては、この予算の中にこれらのものを保管する倉庫を2棟購入する予算も含んでおりまして、そちらの倉庫につきましては、道の駅の大型駐車場の一角に据え付ける予定であります。民間等からの要望があれば、こちらについても貸し出していこうというようなことで現在考えておるところでございます。

それともう一点、海岸の手洗い場です。設置予定の6か所につきましては、白浜中央と白浜大浜、あと外浦、入田、多々戸、田牛の6か所への設置を予定しているところでございます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 2番 中村 敦君。

○2番（中村 敦君） すみません、聞き漏らしたかもしれないんですが、ステージの素材、お願いします。

○議長（滝内久生君） 観光交流課長。

○観光交流課長（佐々木雅昭君） すみません、ステージの素材はアルミ製でございます。

以上です。

○議長（滝内久生君） ほかに質疑はございますか。

1番 江田邦明君。

○1番（江田邦明君） 全体的な補正のつけ方という観点で御質問させていただきたいと思えます。

エアコンだったり、図書館設備ということでは過去にもこれまで交付金の活用がございました。これまでですと、経済対策区分で1から4までということで、具体的な事業に対する目的と効果の説明を踏まえながら提案をいただいているところでございますが、4250事業、観光まちづくり推進事業、もう一点、6701社会体育活動推進事業について、この経済対策区分の1から4の中で、どの区分でどのような効果が見られるという観点で補正されたか、お聞きしたいと思います。

あと、市内団体等の皆様と、議員のほうでも意見交換させていただいた中で、他市町のほうでは直接的な経済効果ということでクーポンの配布であったり、新規事業等々の補正を組んでるところがございまして、そのような事業内容の協議を踏まえ、この補正を計上されたのかどうかという全体の観点で質問をさせていただきたいと思えます。

次に、細かな質問をさせていただきたいと思えます。

6701事業、社会体育活動推進事業にございます補正内容等の区分にあるアウトドアスポーツ振興備品ということで255万5,000円計上がございます。こちらについては備品という計上で、恐らく単価が3万円以上、耐用年数も複数年ということかと思いますが、備品管理として台帳に計上されていくのか、それとも単価が、ちょっと企業会計ですと10万円以上というところがございますが、私のほうで調べ切れなかったので、単価が50万円以上ということで、固定資産の台帳として管理していくのか、お尋ねしたいと思います。

併せて、これらの備品の使用場所、保管場所、また、下田市物品会計規則にございます別表第16条関係の類名称ということで、どのような管理の仕方をしていくのか、お尋ねしたいと思います。

もう一点、備品の購入の目的です。社会体育活動推進事業ということではございますが、敷根公園に設置するというのであれば、敷根公園、有料施設の利活用でありますし、また、地域おこし協力隊が主に使っていくということであれば、地域おこし協力隊の支援というような考え方もございますが、主にどのような購入後、活用の仕方をされていくのか、お尋ねしたいと思います。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

○企画課長（鈴木浩之君） まず、交付金の全体の大きな大くくりの考え方でございます。今回、市の補正予算の検討におきまして、国の動向等も一応、勘案しながらということで、現在、報道等でも個人向けの給付等が国のほうで検討されている中で、今回、市としましては、国の給付金事業と並行する形で経済対策、感染症対策ということで補正のほうを組み立てております。今回の中では観光関係のO T A等の情報発信事業と、アウトドアスポーツの振興整備事業につきましては経済対策という位置づけで組んでおります。そのほかの事業につきましては、施設整備を含めまして感染症対策という大きな考え方で分けをしてるところでございます。大枠については以上でございます。

○議長（滝内久生君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（平川博巳君） アウトドアスポーツの振興の備品に関して、管理等含めて説明をさせていただきます。こちらのほうは一応、3事業から、合宿の誘致の推進は分かるかと思いますが、消耗品とアウトドアのスポーツの関係で2事業ということで、まず1つ目はオンラインを活用してのトレーニング的などというところでの、まず備品の購入を予定しております。こちらが敷根プールの2階のトレーニングルームで、今、地域おこしのほうが中心になって新たなトレーニングメニューをとるところの中の備品に関してランニングマシン

とカヤックとスマートバイク、こちらのほうを備品として予定をしております。

もう一つが、子どもたちの運動機会の創出事業ということで、ウオータースポーツを中心に普及推進を、こちら合宿等、使えるようにはなるかと思えます。そちらのほうの備品として海上ブイとかアンカー類、ウェットスーツも踏まえて、合宿にも使えるというようなどころの中で備品と消耗品と分けて判断をしています。こちらのほうで、取りあえず基本的には敷根プールのほうに置かせていただくという中で管理を予定し、またイベント等ではこちらが窓口になって貸し出したりということの中で、実際には海に行くと。基本的には公社のほうの自主事業的にも海を使ったスポーツ教室は地域おこしと協力をしながらやっていくというようなことなものですから、そちらのほうで貸し出ししながら、実質、備品の管理はこちらのほうでやって、プールのほうに置かせていただくというような形で考えております。以上です。

○1番（江田邦明君） 答弁漏れを。

○議長（滝内久生君） ありますか、指摘してください。

○1番（江田邦明君） 答弁漏れということですみません、お聞かせください。

計上の補正予算以外に議員有志で集まったヒアリング等では、直接的な経済効果があるクーポン券的なものといった要望もお受けしたところでございますが、この補正予算を組むに当たって、そういったものの検討があったかどうかということについて、答弁漏れがございましたので確認をさせていただきます。

もう一点は、6701事業については消耗品と備品という形で分けて補正内容等、記載がございますが、備品に区分されるものについては、備品として管理されるものか、それとも単価自体の自治体の設定は分かりませんが、50万円以上等で固定資産として管理していくのか、答弁漏れがございましたのでお尋ねさせていただきます。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

○企画課長（鈴木浩之君） 申し訳ございません、答弁漏れにつきましては申し訳ございませんでした。

今回の補正の検討におきまして、クーポン券につきましては案としては出ておりましたけれども、最終的に実施の事業として採択というか、決定しなかったということでございます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（平川博巳君） 予算の消耗品は消耗品であって、備品のほうは備品という形

での管理をしていくような形になります。

○議長（滝内久生君） 1番 江田邦明君。

○1番（江田邦明君） 備品として管理となりますと、単価が3万円以上、耐用年数が複数年ということで、このアウトドアスポーツ振興備品のそれぞれの、1つ255万5,000円とかなりアウトドアスポーツの備品としては高額に思われますが、固定資産として管理が必要な単価にいてないという認識でよろしいか、2回目の質問をさせていただきたいと思います。

次に、敷根公園2階のトレーニング室で使用ということで、備品について、私の認識では、保管する場所、主に活用する場所によってその備品台帳、管理課が決まってくるかと思われまます。今回、生涯学習課の予算ということで、実際、備品管理システムであったり、台帳上では備品出納員というのは生涯学習課長になっていくのか、お尋ねしたいと思います。生涯学習課長となった場合、備品についての点検管理、また責任、貸付け等の業務も発生してくるかと思しますので、その点についてお尋ねしたいと思います。

また、備品についてはトレーニング室に設置ということですが、これは有料で利用者に貸付けをするのか、無料で貸付けをするのか、お尋ねさせていただきたいと思います。

○議長（滝内久生君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（平川博巳君） 備品のほうが、出納員は私、生涯学習課長として管理をいたしていくというような形になります。

備品に関しては全て資産という形で、50万円以上の資産というところではなくて、備品という形での管理運営ということでよろしいかと思ひます。

○議長（滝内久生君） 暫時休憩します。

午前10時54分休憩

---

午前10時55分再開

○議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

当局の答弁を求めます。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（平川博巳君） すみません、トレーニング機器の関係ということで、基本的には公社のほうの自主事業で使っていただくので、そのものを貸し付けるという形ではなくて、自主事業でやっていただいて、それに必要な、講師が必要だったら講師に謝礼を払うというようなところで、現在はその活用を考えております。

○議長（滝内久生君） 1番 江田邦明君。3回目です。

○1番（江田邦明君） 公社のほうで活用していくということで、都市公園である敷根公園を指定管理制度の中で受けていく、公社が活用という認識と私は解釈をさせていただきました。これまで社会体育活動推進事業については、ソフト面ということで生涯学習課のほうで取り組まれてると思いますが、今の御答弁ですと、敷根公園の有料施設の利活用を図っていくことについても生涯学習課が深く関与していくというような御答弁だったかと思われま。一般質問の中でもスポーツ振興という部分で、実際この敷根公園温水プールについては、有料施設については生涯学習課が所管をして行っていくことが地方財政法に記載がある、常に良好の状態においてこれを管理し、その所有の目的に応じて最も効率的にこれを運用しなければならないと規定されております。ということで、これまでの答弁から、このスポーツ振興であったり、スポーツ振興が中心となる施設については生涯学習課が所管していくという方向転換、方針転換と捉えてもよろしいか、お尋ねしたいと思います。

○議長（滝内久生君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（平川博巳君） 今、その部分に関しては、庁内で調整というか、協議をしている最中でありま。

○議長（滝内久生君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） これをもって質疑を終わります。

ただいま議題となっております議第55号議案は、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

---

### ◎会議時間の延長

○議長（滝内久生君） ここで会議時間を延長します。

この後、各委員会を開催するため、暫時休憩とします。

なお、委員会終了後、第1委員会室において各派代表者会議を開催いたしますので、代表者の方は御参集願います。

午前10時58分休憩

---

午後 2時30分再開

◎委員長報告・質疑・討論・採決

○議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開します。

日程により、それぞれの常任委員会に付託いたしました、議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）を議題とします。

これより各常任委員長から、所管の委員会における審査の経過と結果について報告を求めます。

まず、産業厚生委員長、江田邦明君の報告を求めます。

1番 江田邦明君。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

○産業厚生委員長（江田邦明君） 産業厚生委員会審査報告。

本委員会に付託された議案は審査の結果、次のとおり議決すべきものと決定したので報告いたします。

1. 議案の名称。

1) 議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）（本委員会付託事項）。

2. 審査の経過。

11月18日、第2委員会室において、議案審査のため委員会を開催し、市当局より長谷川産業振興課長、佐々木観光交流課長、鈴木企画課長、日吉財務課長の出席を求め、それぞれ説明を聴取の上、慎重に審査を行いました。

なお、委員会での各委員の質疑等の発言の要旨は会議録記載のとおりでございます。

3. 決定及びその理由。

1) 議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）（本委員会付託事項）。

決定、全会一致で原案可決。

理由、必要な補正予算であると認めた。

なお、結審前、議員間討議を行い、4250番、観光まちづくり推進事業、屋外イベント用備品1,936万円については、臨時交付金600万円、一般財源1,336万円の財源内訳となっており、感染症対策事業としての意義及び一般財源全体の補正としての趣旨に疑義があるため、全委員において同様の意見がございましたので申し添えます。

以上、産業厚生委員会審査報告でございます。

○議長（滝内久生君） ただいまの産業厚生委員長の報告に対し、質疑を許します。質疑ございますか。

9番 進士濱美君。

○9番（進士濱美君） 産業厚生委員会委員長にちょっと質問いたします。

先ほど本会議のほうで、私、2億4,000万円何がしかの減額補正についてお尋ねしたわけなんです。委員会においてはこういった内容がさらに、なるほどと、それも2億4,000万円何がしが不用額となったという、それなりの理由がある程度見つかったのか否か、その辺の問題で。これ、下のほうの感染拡大防止協力金の交付事業というのは、実は受付の期間が8月11日から9月10日ですよ。これ、下田市でコロナが集中発生したのが7月21日、3名から。その日を追って、毎日のように3名、6名、8名、10名と。8月3日辺りまで約2週間、もう緊急事態宣言に下田市も含めるとい判断にまで至ったわけです。それに対するかのような、あたかもこれ協力金がタイミング的になってるわけです。当時は大変でしたけども、事業者の方はもっと大変だったと思います。ですが、それを鑑みるに、2億4,000万円のうち、例えば下の事業のほうは予算が630件、一応見積もってございますが、対象として受け付けたのは217件、3分の1でした。約7,000万円交付できたということでもあります。これが、だから3分の1だけということで、これ、同時に上のほうの事業、4054の応援事業についても、この発生ピークが過ぎた後の7月、8月、それから9月から受け付けたわけです。まだ余韻が十分残ってる間の事業なわけです。上に受け付けたのが1,900件の見積り予定が、実際に交付、受付申請をされたのは895件と、これもほぼ半分ですよ。下の、先に申し上げたほうが3分の1程度の受付ですよ。これであれでしょうか、下田の事業体は、十分とは思いませんけども、それなりに交付金事業の効果はあったということによろしいんでしょうか、その辺は総括としていかがでしょう。

○議長（滝内久生君） 産業厚生委員長。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

○産業厚生委員長（江田邦明君） 進士議員の質問にお答えさせていただきます。

委員会としましては、まずそれぞれ4054事業、4055事業の母数の考え方が適正であったか質問をさせていただきました。その次に、この事業の周知方法が適正であったか質問をさせていただきました。各事業ごとに報告をさせていただきます。

まず4054事業者応援金事業につきましては、本会議でも当局より説明があったとおり、休業要請の際、約1,500件の事業者がおりましたので、それに対して予算ということで、事業者数を割り込んではいけないということで、プラスアルファをしたということで、この1,900件については適正であったと判断いたします。

次に、4055事業につきましては、食品衛生法第55条の許可を受けた営業店舗ということで、まず県より、この登録店舗が630件ということで報告をいただきました。なお、当局においては、賀茂保健所より、その後、該当する店舗数が439件ということで精査を行っております。また、さらにコンビニ、デリバリー店舗については対象ではないということで、さらに予算から423件という精査を行っております。

その際、この休業協力に対する要請、また休業協力対象事業者であるという申請を事業者  
に周知するため、産業振興課から郵送にて両案内を行っております。

さらに産業振興課では、実際に店舗の実態状況を見回った結果、326件という実態把握に努められております。その後、この期間中に申請があった店舗数ということで217件でございました。よって、実数としましては326件に対し217件の申請ということで、おおむね適正ではなかったかと判断しております。

次に、この事業の周知方法でございますが、さきに申し上げましたとおり、下の事業、4055事業につきましては、対象となる個別店舗事業者のほうに産業振興課から郵送を行ったということで、周知についても適正であったと判断いたしました。

次に、上の4054事業につきましては、周知方法といたしまして、本会議ではホームページ、メール、伊豆新聞といった報告でございますが、委員会での再度の質問に対しまして、当局からは、広報しもだ10月号での周知、市内有線テレビ局2局での周知ということで報告をいただき、また、その後の4054事業に対する、この事業は知らなかったという苦情が当局のほうには2件の申出があったということで答弁があり、委員会では、両事業に対しておおむね適正であったと判断しております。

○議長（滝内久生君） 9番 進士濱美君。

○9番（進士濱美君） 委員会ではそれぞれ両事業に対しての数字的な精査をやっていたということですね。今、報告の中では、当初の予算より大分減らして説明があったということでございます。よって、ほぼ適正であるという判断だったわけですね。分かりました、もちろんそれはそうなんだろうと思うんですけども。しかしながら、上記の1,900件数、予算、下の630件というのは、これは予算化する時点で見積もられているわけですね。3月の議会で我々、これを基に予算化するわけですよ、本予算というのが、これ、つくってるわけです。そんなにいたずらに、半分まではいかないですが、それに匹敵するような数字が変更になると、半年足らずで。これ自体が予算そのものに少し詰めが足りなかったのかという部分もあるんだろうと私は思います。結果としてこういう交付件数が両方とも半分、あるい

は3分の1になったということなんですけども。

あと、途中、申込みが随分少ないなという予想は、ある程度、担当者等は把握してるはずなんですけど、8月、9月の時点でね。そういう動きという、感知の仕方というのは担当者のほうではなかったんでしょうか。

○議長（滝内久生君） 産業厚生委員長。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

○産業厚生委員長（江田邦明君） 進士議員の質問にお答えさせていただきます。

委員のほうから、まず4054事業、事業者応援金事業に対して、事業全体の総括、また途中経過ということで質問がございました。その中で当局からは、期間が1か月ある中、申請が終了となります1週間前より市民向けのメール配信を追加して行ったと報告をいただいております。

あと事業者の総括といたしましては、各事業者様のほうから、県からの給付金等のつなぎとして大変助かったという答えがあったと報告をいただいております。

4055事業につきましては、県の要綱等に基づき、この事業自体が実施、予算化されてるということで、当初630件につきましては、法律上の食品衛生法第55条の許可を受けた営業店舗ということで、この数字で予算を組んだと報告をいただきました。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 9番 進士濱美君。3回目です。

○9番（進士濱美君） 分かりました。いずれにしても、これで事業が終わって、実質的な交付金が大分予算から減ってるわけなんですけど、今後とも、まだコロナ継続中という段階でございますので、産業の、あるいは事業の継続、それから市内、下田市内事業者に対するフォローアップ、この辺は十分に現況把握、現状把握をぜひしっかりとお願いしたいと思います。

以上で、答えは結構です。

○議長（滝内久生君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） これをもって産業厚生委員長に対する質疑を終わります。お疲れさまでした。

次に、総務文教委員長、中村 敦君の報告を求めます。

2番 中村 敦君。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

○総務文教委員長（中村 敦君） 総務文教委員会審査報告。

本委員会に付託された議案は審査の結果、次のとおり議決すべきものと決定したので報告いたします。

記。

1. 議案の名称。

1) 議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）（本委員会付託事項）。

2. 審査の経過。

11月18日、第1委員会室において、議案審査のため委員会を開催し、市当局より鈴木企画課長、日吉財務課長、平井防災安全課長、糸賀学校教育課長、平川生涯学習課長の出席を求め、それぞれの説明を聴取の上、慎重に審査を行った。

なお、委員会での各委員の質疑等の発言の要旨は会議録記載のとおりです。

3. 決定及びその理由。

1) 議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）（本委員会付託事項）。

決定、全会一致で原案可決。

理由、必要な補正予算であると認めた。

以上です。

○議長（滝内久生君） ただいまの総務文教委員長の報告に対し、質疑を許します。質疑はございますか。

1番 江田邦明君。

○1番（江田邦明君） 補正予算書の概要4ページにございます6701社会体育活動推進事業のうち、アウトドアスポーツ振興備品について御質問させていただきます。

委員会前の本会議におきまして、当局からは敷根公園の指定管理者でございます下田市振興公社の自主事業に対し、アウトドアスポーツ振興備品として生涯学習課予算にて備品の購入を上程しているところでございます。委員会の中では、この社会体育活動推進事業と生涯学習課、また、都市公園を管理してる建設課の関係について、今後、市がどのような方向性を持って事業を進めていくかについて議論があったかどうか、教えていただきたいと思えます。

以上1点、よろしく願いいたします。

○議長（滝内久生君） 総務文教委員長。

〔総務文教委員長 中村 敦君登壇〕

○総務文教委員長（中村 敦君） ただいまの質問について、まず本委員会として非常に重要であると認識するのは、まず、このスポーツ、芸術、文化の振興、これは人口減になろうが、少子化になろうが、高齢化が進もうが、豊かな生活をするために、地域としてのスポーツ、文化、芸術の振興は非常に重要であると、そういう認識を持つところです。

そして、こたびこのアウトドアスポーツについての備品の購入もろもろという部分ですけれども、説明では振興公社の自主事業としてが主だという説明であったかと思いますが、大事なことは、このせっかくの設備をいかに有効に多くの方に活用していただくかということだと認識します。そして、つまりそれは自主事業に限らず、市、生涯学習課の直轄の事業にも活用されることもあるであろうと。そして、あるいはイベントなどへの必要であれば、ほかの課のイベント、あるいは民間のイベントかもしれない、そういうところにも貸し出すことも視野に入れて活用を考えているということです。

そして、その施設の運営、備品の管理、そういった部分についてですけれども、市としては今まで例えば敷根公園は建設課のものであると、そこに対して振興公社が入り、生涯学習課の備品が入ることについてですけれども、今後、当局はさきに検討中であるというような答弁もありましたけれども、委員会の中で、今後、市全体としてこのスポーツ振興を盛り上げていくためには、やはり生涯学習課が先頭に立っていくのだという見解をお聞きしたところです。そして、振興公社を今後さらに活用して、自主事業も活発にさせていただく。そして、さらに優秀な地域おこし協力隊が2名も入っておりますので、この方たちもフルに活用して、そして今回の備品も活用しつつ、スポーツ合宿のまず誘致、そこについて調査し、実施していく。そして、さらには地域の子どもたちの運動の機会を創出していくのだということで議論されたところです。

以上です。

○議長（滝内久生君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） これをもって総務文教委員長に対する質疑を終わります。お疲れさまでした。

以上で委員長報告と質疑を終わります。

これより討論、採決を行います。

議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）を討論に付します。

まず、本案に対する反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長の報告どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、議第55号 令和3年度下田市一般会計補正予算（第10号）は、委員長の報告どおり、これを可決することに決定いたしました。

---

○議長（滝内久生君） 以上で、本臨時会に付議されました案件の審議は全て終了いたしました。

これをもって令和3年11月下田市議会臨時会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午後 2時52分閉会